

# 四賀地区 図書だより

令和7年12月1日号

発行 四賀公民館図書視聴覚委員会  
(事務局 TEL 64-3112)

## 新着本の紹介

猛暑から寒い気候への移り変わりのペースが早く、冬への準備が追いつかないくらいでした。山々の紅葉の美しさに、秋の存在を教えてくださいました。

冬支度の整った環境で、物語の世界へ旅に出かけませんか？年末年始、頑張ったあなたへ旅先案内のいくつかを紹介します！

	<p>『<b>蛍たちの祈り</b>』 町田そのこ 著</p> 	<p>『<b>長くなった夜を、</b>』 中西智佐乃 著</p> 
<p>『<b>あの夏のキミを探して</b>』 汐見夏衛 著</p> 	<p>『<b>リボンちゃん</b>』 寺地はるな 著</p> 	<p>『<b>独り言の多い博物館</b>』 標野 風 著</p> 
<p>『<b>マスカレードライフ</b>』 東野圭吾 著</p> 	<p>『<b>新・教場2</b>』 長岡弘樹 著</p> 	<p>『<b>一橋桐子(79)の相談日記</b>』 原田ひ香 著</p> 
<p>『<b>鎌倉茶藝館</b>』 伊吹有喜 著</p> 	<p>『<b>白魔の檻</b>』 山口未桜 著</p> 	<p>『<b>春の星と一緒に</b>』 藤岡陽子 著</p> 

 <p>『イン・ザ・メガチャーチ』 朝井リヨウ著</p>	 <p>『涙の箱』 ハン・ガン作</p>	 <p>『火喰鳥を、喰う』 原浩著</p>
 <p>『ここで唐揚げ弁当を 食べないでください』 小原晩著</p>	 <p>『ベストエッセイ 2025』 日本文藝家協会編</p>	 <p>『65人のこどものはなし』 光村図書出版編集部編</p>
 <p>『本を読む人は うまい』 長倉顕太著</p>	 <p>『ヨルダンの本屋に住んでみた』 フウ著</p>	 <p>『絶景を楽しむ 信州日帰り山歩』 安藤雅樹著</p>
 <p>『独断と偏見』 二宮和也著</p>	 <p>『食物アレルギーの すべてがわかる本』 海老澤元宏監修</p>	 <p>『おまわりさんの きゅうじつ』 中川ひろたか文</p>
 <p>『やさしいライオン』 やなせたかし作絵</p>	 <p>『ぼくらは昆虫探偵団』 田下昌志編著 丸山潔編著</p>	<p><b>年末年始休館日のお知らせ</b> 12/29（月）～1/3（土） 上記期間は休館日となります。</p> <p><b>編集後記</b> 旧会田中学校舎の解体前の見学会。旧職員室の小さなシンクを見た途端「ここでサッカーボールを洗った」という変な記憶が50年の時空を超えて落ちてきました。なぜ職員室で？</p>